



秋好不動産 株式会社
代表取締役

秋好 賢八

培ってきた知識、ノウハウを活かして、定年退職後に不動産業で独立した秋好社長。経営者として新たな道を進んだ社長だが、その心構えは勤務時代と変わらない。何よりも“人”を重んじ、相手の立場に立って物事を考える社長の流儀はたとえ幾つの齢を重ねても、決してぶれることはない。信頼を構築する秘訣は、何時の時代も変わらぬ相手を想う“心”であることが、社長の仕事に向かう真っ直ぐな姿勢から感じ取れた。

**「お客様のために自分ができることを
誠心誠意の姿勢で手掛けていきたい」**

秋好不動産 株式会社

福岡県大野城市東大和 2 丁目 1 番 14 号
URL : <http://www.akiyoshi-tunagu.co.jp>

子や孫に大切な資産をつなぐべく 高い専門性で以て資産運用をサポート



「働くことが楽しいと思えることに
心から感謝したいですね」

代表取締役社長

秋好 賢八

「仕事を楽しむ秋好社長の姿勢が
とても素敵だと感じました」

村野 武範

俳優



column | 動画配信で様々な情報を伝える

▼税理士事務所や大手企業の経理部門で、長年にわたって財務関係の仕事に取り組んできた秋好社長。その経験の中で法律関係の知識を深めると共に、多様なノウハウを磨いてきた。そこに誠実な人間力を加え、現在は人々のライフプランのサポートを行うべく、様々なセミナーを実施しているという。その中でユニークなのが、「YouTube」の動画配信だ。高い専門性を活かして、都度、法律の動きを追いながら様々な情報を発信しており、「わかりやすく、とてもためになる」と高い人気を獲得している。そんな時代に即した活動に動しむのも秋好社長の魅力であり、果敢なチャレンジ精神は経営者の鏡とも言える。「秋好不動産」のホームページ内でも動画が見られるようになっているので、不動産に関する悩みをお持ちの方は是非気軽に同社のホームページを訪問してほしい。

special

interview

土地建物の売買、賃貸、管理をはじめ、専門知識を活かして相続税対策や遺産分割対策、不動産活用対策などの悩みにも十全に応える『秋好不動産』。親身な姿勢と確かな知識で以て、多様なニーズに応え信頼を紡いでいる。本日は、そんな同社に俳優の村野武範氏が訪問し、秋好社長に様々なお話を伺った。

—早速ですが、秋好社長の歩みからお聞かせ下さい。

福岡の出身で、左官職人として日々現場で汗を流していた父の背中を見て育ちました。大学生時代はよく父の仕事を手伝っていて、本業である学業よりも左官業がメインになっていましたね(笑)。ただ、その時の経験で、自分には左官業は向いていないと感じるようになったんです。

—それはまたどうして?

単純に器用ではないというのが理由です。父はとても器用で職人仕事は天職だったと思いますが、私にはそうした器

用さが備わっておらず、左官業を継いでいくことは難しいと考えていました。それを父に伝えたところ、寂しそうにはしていましたが了承してくれて、私は私の道を進むことにしました。手先は器用ではありませんでしたが、頭を働かせることは嫌いではなかったの、大学卒業後は税理士事務所に就職。適性が合っていたのか、すんなりと仕事を覚えることもでき、いくつかの事務所を渡り歩きながら多様な知識やノウハウを磨いてきました。その後、勤務先の事務所が閉鎖することになったことから、次は大手企業に転職し、そちらで約20年にわたって経

理を担ってきました。勤務時代の様々な経験が、独立以降の糧になったと感じています。

—独立については予めから考えておられたのですか。

強い独立心を持っていたわけではありませんが、家族を支えるために独立したほうが良いと判断して一歩を踏み出しました。定年後も契約社員、あるいは嘱託社員として働く道もありましたが、少なからず給与が下がるので、3人いる子どもたちを大学に行かせて養っていくには収入が心許ないと思ったんです。それで色々考えを巡らす中で、かつて宅地建物取引士の資格を取得していたことを思い出しまして、その資格を活かして不動産業で独立することを決めました。

—新たな挑戦に不安もあったのでは?

そうですね。もちろん不安はありましたが、それ以上に、不転の気持ちでも言いますか、家族のためにやり遂げなくてはならないという覚悟を持っていま

したね。しっかりと準備をして会社を設立し、以降も支えて下さる周囲の人たちに恵まれて順調に運びました。不動産に関しては新たな挑戦でしたが、これまでに培った知識を活かせる場面も多くて、そこが強みになった部分も大きいと感じています。

—積んだ経験というのは、決して無駄にはならないものですね。

そう思います。私自身は、勤務時代に税務や財務に携わってきて、その中で法律に関する知識も随分身につけていました。不動産はそうした法律に絡む部分も多い分野ですから、私が有するノウハウが上手く活かされたのだと思います。私どもで得意としているのは相続や贈与、資産活用などで、節税対策をしっかりと行いながら資産を後世に上手くつないでいくようにアドバイスをさせていただいています。

—税務に関する分野にも精通している不動産屋さんというのは、稀有な存在だ

と思いますし、そこがまさに社長の強みと言えますね。お仕事上で大切にされていることは何でしょうか。

まず最初に大事になるのは、やはり信用だと考えています。どのようなビジネスでも人と人の営みである以上、誠実に、真っ直ぐに対応することが肝要です。その積み重ねで信頼関係は育まれていくものだと思いますから、人を重んじた経営をこれからも続けていきます。そして次に、情報を大切にしております。不動産業はスピード感が大事で、情報が重要になってきます。日々変化する不動産事情の中で、早く正確な情報を提供することもまた信用につながってくると思っています。そうした情報収集のために大事なのは人とのつながりですから、結局のところ、先に述べた人を重んじることと同義になりますね。

—社長がいかにか人に重んじて経営の舵を切っておられるかが窺えます。お仕事のやり甲斐はどういったところを感じて

いらっしゃいますか。

お客様に喜んでいただき、「ありがとう」と言ってもらえることが、素直に一番嬉しいですね。自分が手掛ける仕事でお客様に喜んでもらえて感謝の言葉ももらえることが幸せだと感じていますし、だからこそ、私自身も周囲への感謝の気持ちを忘れることのないように努力していきたいと思っています。

—社長のそうした誠実な姿勢が、信頼を寄せられる所以なのでしょうね。ではお話も尽きませんが、最後に今後の抱負をお聞かせ下さい。

これまでに培ってきたノウハウ、そしてこれからも磨いていく知識を十全に活かして、お客様の財産を守るための仕事を続けていきます。そのためには、自分自身の健康も大事ですから、しっかりと健康維持に努めながら、生涯現役を目指していきたいですね。働ける喜びを噛みしめながら、今後も精進して参ります。

(2019年5月取材)